



人々の生活を支えた 交通手段 渡し船

利根川に銚子大橋が架かっていかなかった明治から、平成にわたる88年間の歴史に幕を下ろすまで、通学、通勤、ちよつと遊びに行くのにも、なくてはならない市民の足だった。平成八年に運航終了。

現在の河岸公園 銚子大橋が開通するまで、銚子～波崎間を結ぶ移動手段だった渡船



①②市制施行当初のメインストリート。道路は舗装されていない
③旧西銚子町。本城～松岸方面へ向かう街道。馬が肥料を運んでいる




④銚子駅前のバス乗り場

市制施行当初の 乗り物

メインストリートは写真でわかるとおり、かなり素朴。市制施行後、町は急速に発展し、道路の拡張が行われるが、太平洋戦争で焼失した。



銚子電鉄のユニークな企画

 銚子電鉄HP

開業百周年の銚子電鉄
 百年前（大正12年）、銚子市の市制施行よりも前に開業した、全長6.4kmのローカル鉄道。何度も経営危機を迎えるも、副業のぬれ煎餅販売やお化け屋敷電車、電車プロレスなどの企画で「絶対にあきらめない」。

電車や鉄道

さようなら蒸気機関車
 最後の蒸気機関車は総武本線の無煙化計画により、全国の路線から次々と姿を消すように。その後、市は、廃車となった蒸気機関車を借りて、前宿町の市体育館脇に展示した。

最後の蒸気機関車は総武本線。前面に日の丸を交差させ、千葉駅から走ってきた。国鉄の無煙化計画により、全国の路線から次々と姿を消すように。

人々の足として、生活を支える。

- ① 昭和44年 SLが姿を消す
- ② 昭和50年ころの銚子電鉄